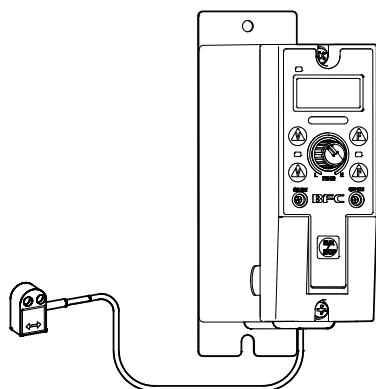
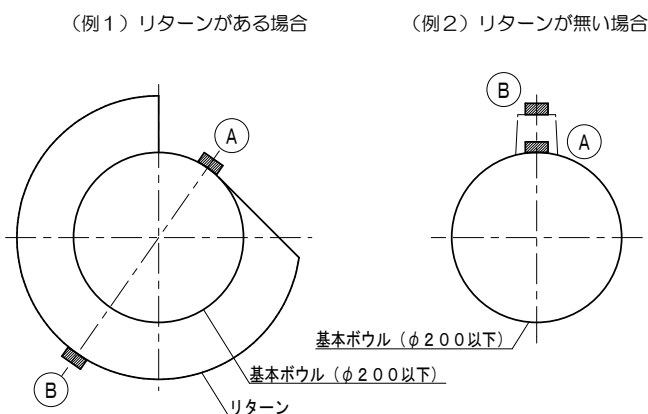
ＡＦＣシリーズ定振幅コントローラ
使用上のご注意（補足資料）

この度はＢＦＣ圧電フィーダ用コントローラをお買い上げいただき
ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、ご使用前に別紙の説明書をよくお読みください。
また、定振幅コントローラに関しましては、
この「使用上のご注意」も合わせてお読みください。

１．センサの取付位置について

定振幅機能の効果を最適な状態でご使用いただく為に、
下記の点に注意して、センサを取付けてください。

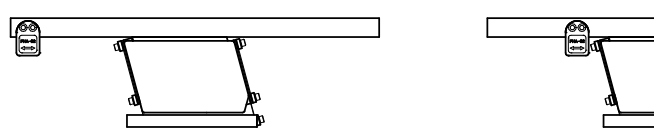
１－１　ボウルフィーダの場合
小径のボウル（基本ボウルがφ２００mm以下）の場合は
なるべく外側（振幅の大きな位置）へ取付けてください。

（例１）リターンがある場合　　　（例２）リターンが無い場合

【図１】ボウルへのセンサ取付位置

例１の場合、Ａの位置（基本ボウル）に取付けるより、Ｂのリターン
の側壁に取付ける方が、定振幅の効果が向上します。

例２の場合、Ａの位置（基本ボウル）に取付けるより、可能であれば
なるべくリブ等を追加し、外側へ取付ける方が、定振幅の効果が向上します。

※Ａの位置でも定振幅効果は得られますが、ワーク投入時等で、搬送スピード
　スピードが設定スピードへの戻りが鈍かったり、定振幅効果が確認されない
　場合に、［図１］の方法を実施してください。

１－２　リニアフィーダの場合
シュートに振動センサ取付ける場合、先端、後端（振動機から遠い位置）に
取付けセンサ自体の質量により、搬送に影響がある場合、なるべく振動機に
近い位置へ変更してください。

（Ａ）ワークの搬送に影響がある場合

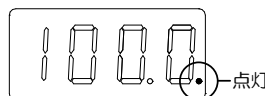
（Ｂ）改善例

【図２】シュートへのセンサ取付位置

２．ロック（定振幅機能作動）について

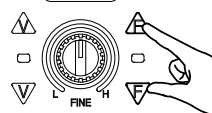
ロックは、下記の点に注意して、正しい手順で行ってください。
下記の点に注意して、センサを取付けてください。

１．振動センサ（ＰＨＡ－０２）は振動体にしっかり固定されている事。
２．振動センサがコントローラに、しっかり接続されている事。
※中間に接続コネクタがある場合も、しっかり接続されている事。
３．コントローラの操作ボタン、ボリュームで最適な振動に合わせます。
　（ＡＦＣシリーズ取扱説明書「６．使ってみましょう」参照）
４．上記の手順終了後、ロックを行います。
　（ＡＦＣシリーズ取扱説明書「８．ロック機能」参照）

※ロックを行うタイミングは、必ず振動機が動いている時に行ってください。
（ＳＴＯＰしている状態で、ロックを行っても無効となります）

※ロック時は右端コロンが点灯しボタン操作
　が無効になった事を確認してください。

３．追加機能と設定方法

３－１　外部入力による運転停止の切換え設定にも対応可能になりました。
１．ＶとＦの各ＵＰボタンの同時長押しで表示が切り替ります。
　（出荷時は、基本設定「Ｓｏｆｆ」になります）
２．更にＶとＦの各ＵＰボタンの「同時長押し」で「Ｓ　ｏｎ」
　に切り替え設定されます。

３－２　振動センサ感度切換え設定
振動センサの感度が４段階で切換えが可能です。
１．周波数ＵＰ、ＤＯＷＮボタンを同時押しで表示が切り替ります。
※出荷時は「ＳＥｏ１」に設定されていますが、設定表示と同時に
　「ＳＥｏ２」に切替ります。
２．同様に「Ｆ」同時押し毎に感度レベルが切り替わります。

レベル値が大きいほど、
負荷変動に対する設定スピード
への復帰時間が長くなります。

※基本的にはレベル１（初期設定値）で使用します。